

(4) 学校教育学部

① 入学者選抜

ア 運営・活動の状況

i) 委員会等の開催状況

入学試験委員会を16回開催した。また、学部入学者選抜に関して4つの専門部会を合計11回開催した。

このほか、入学者選抜方法検討ワーキンググループ(学部・大学院共通)を8回開催した。

ii) 審議された主な事項

私費外国人留学生の特別入試の廃止、一般入試(前期日程)の見直し、学部入学者選抜方法の概要の策定、推薦入試・一般入試等の実施計画の策定・実施、学生募集要項等の作成、合否判定基準・合否案の作成、大学入試センター試験の実施、令和3年度以降のアドミッション・ポリシー、令和3年度以降の入学者選抜等について審議した。

また、入学者選抜方法研究専門部会において、入学者選抜に関する追跡調査、入試改革前後の比較・分析及び入学者選抜方法の改善に関して調査研究した結果を、「平成31年度入学試験委員会入学者選抜方法研究専門部会報告書」として取りまとめ、学内に公表した。

iii) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

○ 入試方法等の変更

私費外国人留学生の特別入試について、令和2年度入学者選抜から廃止することを令和元年5月にホームページで公表した。

また、一般入試(前期日程)の試験日程について、令和2年度入学者選抜から2日間で実施することを令和元年5月にホームページで公表し、令和2年2月に実施した。

○ 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)の見直し

現行のアドミッション・ポリシーは、本学の第3期中期目標の主要目標に「21世紀を生き抜くための能力+ α を備えた教員の養成」の理念に沿って「教育の理念・目的」「学校教育学部の目標」を掲げ、アドミッション・ポリシーを含む3つのポリシー(アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー)を一体的に策定し、平成31年度入学者から適用している。

令和3年度以降のアドミッション・ポリシーについては、「高大接続システム改革会議『最終報告』(平成28年3月31日 高大接続システム改革会議)」では、「大学入学者選抜は高等学校教育と大学教育とを接続し、学力の3要素(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)を多面的・総合的に評価するものに転換する。」とされていることから、「21世紀を生き抜くための能力+ α を備えた教員の養成」における5つの力(「教育実践力」を除く「基礎力」「思考力」「実践力」「学び続ける力」「人間力」)を、「人間力」を含めた「学力の3要素等」に評価項目を置き換えて整理・統合した上で、入学者選抜の区分及び方法毎に、それぞれ評価する能力を表形式で示す内容に見直しを行った。

なお、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーとの整合性については、カリキュラム企画運営会議において確認済みであり、令和2年4月開催の教育研究評議会で承認後、同年5月中にホームページで公表する予定である。

○ 入学者選抜方法の妥当性及び信頼性の検証

入学者選抜方法研究専門部会において、平成 23 年度から平成 30 年度までの卒業者を対象として、推薦入試、一般入試（前期日程・後期日程）の各入試による入学者間の学内成績の比較や教員採用試験の受験状況（教員採用試験の合否状況を含む。）と入試成績との関連を検討した結果を示した。

また、推薦入試及び一般入試（前期日程）については、平成 31 年度入学者選抜から入試方法を変更しており、この入試制度改革により入学生の学力に差異が認められるか検討するため、平成 31 年度入学者と平成 30 年度入学者の基礎学力試験の成績及び 1 年次の前期試験について比較・分析した。

○ 大学入試センター試験実施に向けた取組

試験実施上のミスやトラブルは再試験など受験者に多大な影響を与えることから、大学入試センター及び上越市内の関係機関等との連携・協力を密にし、円滑な実施に向けた取組を行った。

具体的には、令和 2 年度大学入試センター試験監督業務等に関わる全ての教職員に対する説明会における周知徹底と欠席者に対する個別説明の実施及びリスニング試験における演習の実施並びに学内連絡体制や実施マニュアルの再点検、整備等を行った。

○ 大規模災害で被災した受験者への特別措置

東日本大震災等により被災した志願者の進学機会を確保する観点から、前年度に引き続き、当該志願者の入学試験に係る検定料を全額免除とする特別措置を実施した。

また、令和元年台風第 19 号等（令和元年 8 月 13 日から 9 月 24 日までの間の暴風雨及び豪雨並びに令和元年台風第 19 号をいう。）で被災した志願者への特別措置を追加した。

イ 優れた点及び今後の検討課題等

学部の令和 3 年度以降のアドミッション・ポリシーを踏まえ、学力の 3 要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）を多面的・総合的に評価すること及び大学入試センター試験に代わる大学入学共通テストの導入に伴い、学部の入学者選抜を行う上での具体的な事項について、令和 2 年 3 月に予告・第 3 報をホームページで公表した。

今後は、一般選抜（前期・後期）の面接の得点化及び大学入学共通テストと個別入試の配点比率について検討を行う必要がある。